

今年度 (2018年度/H30年度) の活動項目と実施体制の総括

1. 基礎情報の整理 (活動の柱1)

WG 項目	体制		業務目標	スケジュール	備考 (総括)
①法人化準備チーム	山村		機能継承の方法検討	2018年度未までに方向性を出したい	具体的打開策が見つからない。 継続検討事項となる。
②アンブレラ機能の発揮 (PERPAMSIとの連携強化、具体化)	富岡 山口	現地と調整担当 ★不在 事務局	アンブレラ機能を発揮するためにJISCOWAPINDOとPERPAMSIとの協力内容・方針についての合意形成 国内でインドネシアに関係した仕事をしている団体・企業との連携強化	今年度も現地調査やIWA東京などの機会を活用して協議を進める ←PERPAMSI会長異動で実現せず 機能継承にあわせて参加を働きかける	今年度は、PERPAMSIとの具体的な連携事業が実施できなかつた。 項目①の機能継承と連動するため進展がなかつた。
③来日・訪尼の交流対応 (キーパーソンとの交流深度化)	富岡		日水協総会にインドネシアからの参加があれば、交流会を開催	まず、年間予定の掌握と計画づくり ←福岡総会に来日無し	今年度は来日の機会が無く、具体的な交流が実現できなかった。 次年度以降も来日未定。 (JWWAの招請事業は今年度で終了)
④PERPAMSIとの連携事業化 (国際イベント等での交流も含む)	富岡		a)第11回IWA世界会議・展示会 (東京:2018年9月16日から21日)開催に合わせた対応も検討 b)IWWWF2019への参加を検討 (第2回総会にて) PERPAMSIによる検査制度導入支援	a)PERPAMSI側への意向打診から開始 (今夏) b)JICWELSが募集対応実施 2019年2月に来日研修予定	a)←上記②と同じ b)数社応募・相談有り (JICWELS対応) 来日研修は、延び延びになっている。
⑤情報収集	山村 小島		H29年度内に出版原稿を取りまとめる:目次作成、作業分担決定、原稿作成 JISCOWAPINDOの活動への理解の増進	1回/2か月程度情報発信⇒5月以降、毎月和文・英文5件以上の情報を提供中	①2018年9月20日 (9月分配信) ②2018年12月7日 (10・11月分配信) ③2019年1月10日 (12月分配信) ④2019年2月28日 (1月・2月分配信) ⑤2019年3月27日 (3月分配信)
村山さまのデータをベースに拡充とネシア水道ガイドbook出版の検討					

2. プロジェクト化 (活動の柱2)

WG 項目	体制		業務目標	スケジュール	備考 (総括)
①PAMJAYA M/P見直し	今田	現地担当 ★不在 事務局	M/P見直しに向けたJICA開発調査の実現 PAMJAYAへの専門家派遣の実現	要請書の進捗具合の確認 同上	2019年3月に現地状況確認した。 結果は、本総会での報告のとおり
②専門家派遣への調整・行動	永尾 (伊藤)		現地情報の収集継続 水道事業の経験者の派遣が必要という認識を醸成するためにJICAに都度働きかける。	現地からの要請が出てくれば検討継続	菅原専門家の後任派遣要請に関しては、途絶えた状況にある。
③ブカシトレセン技プロ			ブカシトレセンでの技プロの実施	要請書の進捗具合の確認	2019年3月に現地状況確認した。 結果は、本総会での報告のとおり
④ワークショップ開催 (幹部ミーティング)	菅原 今田 小林 成相 山村 伊藤 富岡		年度内に現地ミーティングに参加し上記①~③を進展させる。	2019年1月頃 ←2019年3月上旬に開催	2019年3月開催の現地セミナーに参加した。
④その他、新しいPPP案件への対応			インドネシア政府PPP案件の動向情報の収集 政府保証やBAPPENASの動向情報の収集		特段の取組はない